



自己有用感を高めるために、適切な評価を目指して

保健主事 後藤 典子

突然ですが、お子さんのよいところを5つ挙げてみてください。今度は、お子さんに自分自身のよいところを5つ挙げてもらってみてください。さあ、互いに挙げたよいところは同じだったでしょうか。

毎年4月に、小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査というものをやっているのですが、その中の質問に「自分には、よいところがあると思いますか。」とあります。嬉しいことに、福井野小学校では、「あてはまる」と答えた児童の割合が北海道平均、全国平均より上回っています。

しかし、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」という質問に対して、はっきりと「あてはまる」と答えた児童の割合は北海道平均、全国平均よりやや下回っています。

このことから何が言えるのかというと、**自己肯定感**は高いが、**自己有用感**は低いということです。

つまり、わたしたち教師は、子どもたちの自己有用感を高める^{※1}関わりをしていかなければなりません。そのためには、「褒める」よりも「認める」ことを大切にすることが求められます。

^{※2}子どもの実際の行動と向き合うことなく、表面的にお世辞を言ったり、「みなさん、よく頑張りましたね。」と全員を一括りにして褒めたりしても、自己有用感を高めることはできないのです。ですから、行事や学習に取り組む際に、子ども自身に目標や工夫・努力する点などを考えるよう促し、その基準をどこまで達成できたのかを評価することを意識していきたいと思います。行事のがんばりカードだけではなく、本校では毎時間の学習で振り返りを大切にしています。ただ「頑張ったね」と評価するのではなく、子どもが「こだった」「見てほしかった」という点に気づき、的確に評価していけるよう、より一層努力していきます。

さて、冒頭に戻りますが、お子さんと同じではなくても、がっかりする必要はありません。子ども自身が自分のよさに気付いていないことはよくあることですし、他者から評価されることで、「自分にはこのようなよさもあったのか」と気付くことも多いからです。大切なのは、どうしてよいところとして取り上げたのかその理由をしっかりと伝えられることだと思います。「やさしいところ」で終わるのではなく、「公園で遊んでいるときに小さい子が来たら遊具を譲ってあげていたね。」などと具体的に伝えたり、逆にお子さんに「自分ではどういうところがやさしいと思うの?」と尋ねてみたりすることで、お互いの認識を確かめることができます。大人が願う姿と子どもが目指す姿が違ったとしても、それを交流し、理解し合うことが大切ではないでしょうか。

そして、その情報をぜひ学校とも共有していただきたいのです。学校での様子をお伝えし、家庭での様子を伝えてもらうことで、より一層児童理解が図れます。そうすることで、一人一人に合った評価をできると考えています。今週から来週にかけて行われている個人懇談をはじめ、必要に応じて連絡帳や電話連絡などでもお子さんの様子を伝え合う機会がもてたらと思っておりますので、今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※「自己肯定感と自己有用感」、「褒めると認める」はどちらも似たような感じがするかも知れませんが、文部科学省では次のように使い分けています。

- ※1
- ・自己肯定感…自己に対して肯定的な評価を抱いている状態を指し、自分に対する自己評価が中心
 - ・自己有用感…他人の役に立った、他人に喜んでもらった…等、自分に対する他者からの評価が中心
- 例)単に「クラスで一番足が速い」(自己肯定感)という自信ではなく、「クラスで一番足が速いので、クラスの代表に選ばれた。みんなの期待に応えられるよう頑張りたい」(自己有用感)というかたちの自信であり、自己有用感においては「クラスで一番」であるかどうかは、さほど重要ではなくなっている。

- ※2
- ・褒める…大人側の基準で一定の水準に達した、水準を超えたと評価する
 - ・認める…子どもの基準や水準で褒められたい
- 例)子どもなりのこだわりで努力したり工夫したりしたことを「認められたい」。だから、大人の考えた基準に達していなくても「褒めてほしい」と考えたり、大人の考えた水準に到達して褒められた場合でさえ、大人の基準とは異なる子どもの基準でも「褒めてほしい」と考えたりする。

12月の生活のめあて

工夫してなかよく遊ぼう

12月の行事予定

- 1日(木) あいさつ週間4年(～7日)
個人懇談③(全校5時間)
跳び箱週間(5年)
- 2日(金) 個人懇談④
跳び箱週間(1年)
- 5日(月) 個人懇談⑤(全校5時間)
QU週間②(～9日)
給食週間(～9日)
図書返却週間(～9日)
跳び箱週間(3年)
- 6日(火) 児童委員会
4年非行防止教室
- 7日(水) 個人懇談⑥(全校5時間)
スクールカウンセラー来校(午後)
- 8日(木) なかよし遊び⑥(低ブログループ)
- 9日(金) なかよし遊び⑥(中ブログループ)
- 12日(月) なかよし遊び⑥(高ブログループ)
- 13日(火) 児童委員会 6年最終 ALT⑱
- 14日(水) 冬休み図書貸し出し5・6年
ALT⑳
- 15日(木) 冬休み図書貸し出し3・4年・つくし
- 16日(金) 冬休み図書貸し出し1・2年
- 17日(土) PTA資源回収
- 19日(月) 冬休み図書貸し出し予備日
- 20日(火) クラブ最終回
スクールカウンセラー来校(午前)
- 23日(金) 2学期終業式
短縮4時間給食無し
- 24日(土) 冬季休業(～1/17)
- 12月29日(木)～1月3日(火) 学校無人化
1月4日(水)～1月6日(金) 冬季休校日
- 28日(水) 学校諸費引落12月分 ①
令和5年1月
- 18日(水) 3学期始業式
短縮4時間給食無し



跳び箱週間

「健やかな体」づくりに向けた取組の一つとして跳び箱週間を実施しています。この期間は、常時体育館に跳び箱を設置し、準備時間を短縮することで学習時間を保障しています。11月28日からは休み時間にも取り組めるようにし、身体感覚の向上を目指します。

PTA資源回収のお知らせ 最終回

PTA資源回収10月分の収益金は822円でした。12月の回収日は12月17日(土)です。午前9時まで、福井野小学校と分かるように玄関前にお出してください。

以前よりお知らせしておりました通り、今回をもちましてPTA資源回収は終了となります。これまでのご協力ありがとうございました。

「人との関わりを大切に」

児童活動部 田口 晴美

「あー、楽しかった。」
「先生、今日はこんなことをしてきたよ。」
「〇年生の〇〇さんがね…。」

上のセリフは、なかよし遊びを終えて教室に戻ってきた1年生が、私にしてくれるお話です。1年生は、なかよし遊びをいつも楽しみにしており、満足した顔で戻ってきます。こうした姿を見ると、やはり異学年で交流することの大切さや意義を改めて感じさせられます。

委員会活動やクラブ活動も同様に、異学年の子どもたちがアイデアを出し合って有意義な活動を目指し、実践しています。振り返りカードを読むと、それぞれが他学年のよさを書いていることがあり、心が温かくなります。

上の学年の子どもは、リーダーとしての自覚や責任をもって自分の役割を果たし、下の学年の子どもは、そういった上の学年の姿に憧れや尊敬の気持ちを抱きます。コロナ禍になり、様々な制限がある中での取組ではありますが、その積み重ねがしっかりと実を結んでいます。

人との関わりの中では、自分の思うようにいかないこともあり、我慢することや譲ることもあります。しかし、そういった折り合いを付ける経験も重ねていくことがその子の成長につながるのだと思います。学校は、人と人が関わり合う一つの社会であり、今ここで、人との関わり方を学ぶことが、後の様々な集団での生き方につながると考えます。今後も、子どもたちが年齢や性別問わず、人と関わることを大切にしながら学校生活を送ることができるよう、取り組み、関わっていきます。

給食週間

12月5日(月)～9日(金)は給食週間です。アンケートに基づいたお楽しみ給食があります。また、平和小の栄養教諭による食指導など食について考える期間にしていきます。ご家庭でも食の大切さについて話題にしていただけますと幸いです。



新1年生一日入学の日の

午前授業のお知らせ～1・2年生

令和5年2月17日(金)は新1年生の一日入学・教育説明会です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在校生との交流は行わず、1・2年担任と新1年生とで体験活動を行うことにいたします。

それに伴いまして、当日、**1・2年生の児童は4時間授業となり、給食を食べ**
て13:00頃下校となります。

ご理解とご協力をお願いいたします。

